

## 総合周産期母子医療センター新生児科

**総括：**総入院数は372人で2020年度より72名増加した。2021年度後半になり妊婦への新型コロナウイルス接種が開始され、妊娠出産件数の増加による変化が影響された可能性がある。超早産児の入院数には大きな変化がなく、埼玉県内で出生した超早産児・重症児・先天性心疾患・外科系疾患時の多くが当センターに入院していることがわかり、地域周産期施設との機能分担および連携ができています。在胎期間27週未満、出生体重1000g未満の超早産児の生存率は非常に高く(生存率91.0%)、長期予後も良好で総合周産期母子医療センターとしてレベルの高い新生児医療提供ができています。

**入院内訳：**2021年度総入院数は372人(前年比+24.0%)であった。入院の内訳は、在胎週数が未熟で出生体重の小さい超低出生体重児(出生体重1000g未満)が47人(前年度より+5人)、極低出生体重児(出生体重1000-1500g未満)が22名(前年度より+2人)、低出生体重児(出生体重1500-2500g未満)が105名(前年度より+36人)で、超・極低出生体重児は合わせて総入院数の18.0%(前年度より+2.0%)であった。在胎期間別内訳は22-24週:24名、25-27週:21名、28-30週:15名、31-33週:33名、34-36週:50名、37週以上:229名であった。重症新生児仮死や遷延性肺高血圧症、胎便吸引症候群、重症新生児仮死、胎児診断されていた先天性心疾患児、先天性外科疾患児などの出生体重2500g以上の児は198名で総入院数の53.2%であった。

**入院経路：**さいたま赤十字病院産科からの入院は125件で、総入院数の41.7%であり、分娩立会い件数は123件で総入院数の41.0%であった。院外からの新生児搬送入院は175件で、新生児ドクターカーによる院外新生児搬送件数は84件であった。

**胎児診断：**埼玉県遠隔胎児診断支援システムを活用し、先天性心疾患・先天性外科疾患が胎児診断され当センターNICUに入院した児は76例(前年度より+20例)であった。NICU入院後に治療介入が必要だった先天性心疾患症例は69例(前年度より+37例)、外科系疾患症例は49例(前年度より+25例)で埼玉県内全域の総合・地域周産期産科および新生児施設から紹介されていた。

**特殊治療：**人工換気療法147件(入院患児の39.5%)、サーファクタント補充療法63件、一酸化窒素吸入療法18件、脳低温療法17件、血液透析0件、ECMO0件、であった。

**死亡率：**死亡患児数は8例で染色体異常・奇形症候群などで死亡したのが全5例であった(染色体異常2名、リンパ管拡張症1名、奇形症候群:1名)。死亡率:在胎期間別22-24W; 8.3%(2/15、21w1例含む)、25-27w; 9.5%(2/21):出生体重別~499g; 16.7%(1/6)、500-999g; 7.3%(3/41)、1000-1499g; 4.5%(1/22)。

**剖検率：**50.0%

2021年度在籍新生児科医(15名):清水正樹(総合周産期母子医療センター長、新生児科科長)、川畑 建(副部長、NICU病棟長)、菅野雅美(副部長、GCU病棟長)、西村 力、采元純、鈴木ちひろ、関野将行、関野知佳、今西利之、栗田早織、藤沼澄江、角谷和歌子、小林亮太、長尾江里菜、斎藤光里、田邊円佳、常勤的非常勤(4名)

(清水 正樹)

### 出生体重別入院数

入院数	出生体重						合計
	～499g	500～999g	1000～1499g	1500～1999g	2000～2499g	2500g～	
2021	6	41	22	41	64	198	372
2020	4	38	24	24	45	165	300
2019	2	39	32	54	60	206	393
2018	5	32	44	53	48	149	331
2017	1	53	36	57	60	217	424
2016	1	14	26	40	53	238	372

### 在胎期間別入院数

入院数	在胎期間						合計
	22-24W	25-27W	28-30W	31-33W	34-36W	37W～	
2021	24	21	15	33	50	229	372
2020	15	22	20	27	41	175	300
2019	12	27	23	37	57	237	393
2018	15	19	24	54	59	160	331
2017	19	24	34	55	53	239	424
2016	6	12	11	21	55	266	371

### 出生体重別・在胎期間別死亡率

2021年度	～499g	500～999g	1000～1499g	1500～1999g	2000～2499g	2500g～	合計
入院数	6	41	22	41	64	198	372
死亡数	1	3	1	2	0	1	8
死亡率	16.7%	7.3%	4.5%	4.9%	0.0%	0.5%	2.2%

2021年度	22-24W	25-27W	28-30W	31-33W	34-36W	37W～	合計
入院数	24	21	15	33	50	229	372
死亡数	2(含21w1名)	2	2	0	0	2	8
死亡率	8.3%	9.5%	13.3%	0.0%	0.0%	0.9%	2.2%

### 超低出生体重（出生体重 1000g 未満）の主な治療および退院時予後（2021 年度）

在胎週数	n	院外出生	CLDステロイド	CLD36	PDA手術	晩期循環不全	IVH1-2	IVH3-4	PVL	敗血症	NEC/FIP	難聴	ROP治療	死亡数	HOT導入
22-23w	17	0	9	3	0	2	2	0	0	1	1	0	2	0	3
24-25w	12	1	3	12	3	1	4	2	2	2	0	1	2	0	2
26-27w	16	1	3	8	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0
28-30w	14	2	2	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
31w-	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 主な治療

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
人工呼吸換気	181	182	157	170	105	147
STA補充療法	57	75	59	50	44	63
NO吸入療法	11	16	16	14	8	18
脳低体温療法	26	13	13	18	12	17
血液透析	3	5	3	3	1	0
ECMO	2	1	1	1	1	0

### 胎児診断例

	2019	2020	2021
胎児診断例	69	56	76
心疾患	35	32	69
外科系疾患	21	12	49
その他	15	12	20

(重複あり)

### 主な胎児疾患診断例

主な先天性心疾患	2019	2020	2021	主な先天性外科疾患	2019	2020	2021
大血管転位症	6	8	6	消化管閉鎖/回転異常	12	8	25
两大血管右室起始症	12	11	8	横隔膜ヘルニア	3	1	
大動脈縮窄症/大動脈離断	10	8	7	臍帯ヘルニア	2	1	
総動脈幹症	1	0	1	CCAM/CPAM/肺分画症	2	2	2
左心低形成	2	4	7	総排泄腔遺残	2	1	
単心室症	3	3	1	気道閉鎖	2	0	3
大動脈弁閉鎖/狭窄	1	0	4	髄膜瘤/二分脊椎	9	0	9
肺動脈弁閉鎖/狭窄	6	3	9	脳腫瘍/脳奇形	2	3	8
三尖弁閉鎖	3	1	3	尿路奇形	1	3	15
総肺静脈還流異常	3	3	7	腫瘍/血管腫	2	1	
Ebstein奇形	1	3		リンパ管疾患		2	1
その他			27	その他			10

### 剖検率

剖検率	
2021	50.0%
2020	85.7%
2019	87.5%
2018	58.3%
2017	25.0%
2016	50.0%